

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : ZW-10A
供給者の会社名称 : センカ株式会社
住所 : 〒520-3213 滋賀県湖南市大池町7-2
担当部門 : 製品管理部門 製品情報課
電話番号 : 0748-75-1155
FAX番号 : 0748-75-1171
推奨用途 : 一般工業用途
使用上の制限 : 推奨用途以外には使用しない

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 :
GHS分類
物理化学的危険性
金属腐食性化学品 : 区分1
健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分4
急性毒性(経皮) : 分類できない
急性毒性(吸入) : 区分4
皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性
/眼刺激性 : 区分1
呼吸器感作性 : 区分1
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1
誤えん有害性 : 分類できない
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) : 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 金属腐食のおそれ
飲み込むと有害
吸入すると有害(粉塵/ミスト)
重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
臓器の障害(呼吸器)
長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害(歯、呼吸器)
水生生物に非常に強い毒性
注意書き 【安全対策】 : 他の容器に移し替えないこと。
取扱い後はよく洗うこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
環境への放出を避けること。

- 【応急措置】 : 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合:汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ただちに医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
漏出物を回収すること。
- 【保管】 : 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
- 【廃棄】 : 内容物/容器を廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理すること。
- 【使用上の注意】 : 安全データシート(SDS)を参照して下さい。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
官報公示整理番号(化審法) : 既存
官報公示整理番号(安衛法) : 既存

成分及び含有量

成分	含有量(%)	CAS RN [®]
塩化水素	25	7647-01-0
第四級アンモニウム塩ポリマー	5~7	非公開(確認済)
水	65~75	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で洗い流し、速やかに医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の処置を受ける。
この製品が目に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずる恐れがある。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませる。
直ちに医者の処置を受ける。
被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
腐食性の製品なので吐き出させるとかえって危険が増す。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、噴霧水。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし。
- 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は、可能な限り風上から行う。
周囲の設備などに散水して冷却する。
消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
燃焼ガスには、一酸化炭素、NO_x、塩化水素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に避難させる。
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。その後多量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策 : 必要があれば消石灰、ソーダ灰等で中和する。中和の際は、発熱、発煙等に注意する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。
回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密封しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 作業場の換気を十分行う。眼及び皮膚への接触を避ける。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
アルカリとの接触を避ける。金属との接触を避ける。

- 接触回避 : 「安定性及び反応性」の章を参照。

保管

- 適切な保管条件 : 通気の良い屋内(5~35°C)で容器を密閉し保管する。
アルカリ性物質と一緒に保管しない。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

管理濃度

- : 設定されていない。

許容濃度

- 日本産業衛生学会(2022) : 塩化水素 STEL 2ppm (3mg/m³)
ACGIH (2019) : 塩化水素 Ceiling 2ppm

保護具

- 呼吸用保護具 : 酸性ガス用防毒マスク。
- 手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
- 眼、顔面の保護具 : ゴーグルまたは全面保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 粘稠液体
- 色 : 白色
- 臭い : 刺激臭
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限及び爆発上限/可燃限界 : 上限: データなし 下限: データなし
- 引火点(測定方法) : 示さず
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH(測定条件) : 1.0未満(原液)
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度
- 水溶解性 : 可溶
- n-オクタノール/水分配係数(log値) : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 比重 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし
- その他のデータ : データなし

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 通常の実験条件においては安定。
- 反応性 : アルカリ性物質に触れると、発熱及び有毒ガスを発生する恐れがある。
- 危険有害性反応可能性 : 情報なし
- 避けるべき条件 : 高温

混触危険物質 : アルカリ性物質、金属類
危険有害な分解生成物 : 塩化水素ガス
その他 : 本品に含まれる塩酸には金属腐食性がある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : データなし 加算式の適用判定より 区分4
急性毒性(経皮) : データなし
急性毒性(吸入) : データなし 加算式の適用判定より 区分4
皮膚腐食性/刺激性 : データなし 混合物の濃度限界値より 区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : データなし 混合物の濃度限界値より 区分1
呼吸器感受性又は皮膚感受性 : データなし (呼吸器)混合物の濃度限界値より 区分1
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
IARC : 認定されていない。
NTP : 認定されていない。
日本産業衛生学会 : 認定されていない。
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし 混合物の濃度限界値より 区分1
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし 混合物の濃度限界値より 区分1
誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし 加算法の適用判定より 水生環境有害性(急性) 区分1
残留性/分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし
その他 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規則 : 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類・国連番号 : 国連分類クラス 8(腐食性物質)
国連番号 3264 (その他の腐食性液体、酸性、無機物)
緊急時応急措置指針番号 : 154
IATA: Proper Shipping Name : Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s.
Class(Sub1,Sub2) : 8
UN Number : 3264
Packing Group : III
IMDG: Proper Shipping Name: : CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
Class(Sub1,Sub2) : 8
UN Number : 3264
Packing Group : III
海洋汚染物質 : 非該当
国内規則 : 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送: 船舶安全法および海洋汚染防止法に定められている運送方法に従う。
航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件 : 「漏出時の措置」及び「取扱い及び保管上の注意」の章を参照
容器の破損、漏れがない事を確かめる。
荷崩れ防止を確実にを行う。
船舶安全法、航空法に基づく腐食性物質に該当するので、海上輸送、航空輸送する場合は同法に従って容器、および標識その他必要な措置を講じて輸送する。

製品名 ZW-10A
整理番号 74019

センカ株式会社 [5/5]
作成日 2023年9月29日

15. 適用法令

国内適用法令

化学物質管理促進法	: 該当しない。
化審法	: 特定化学物質、監視化学物質に該当しない。
労働安全衛生法	: 表示・通知義務対象物質 No.98 塩化水素 特定化学物質 第3類物質
毒劇物取締法	: 劇物
消防法	: 該当しない。
高圧ガス保安法	: 該当しない。
火薬類取締法	: 該当しない。
船舶安全法	: 腐食性物質
航空法	: 腐食性物質

16. その他の情報

引用文献	: ・GHSに基づく化学品の分類方法 JIS Z 7252: 2019 ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253: 2019 ・GHS分類結果データベース、独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
------	---

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。